

たんぽぽ

2013年 春号 創刊号

発行 医療法人社団光仁会 梶川病院
編集・文責 地域医療連携室



財団法人 日本医療機能評価機構認定病院



医療法人 社団 光仁会

梶川病院 広報誌

梶川病院

院長挨拶

新任医師紹介

部門紹介:リハビリテーション科

●理念

「私たちは、地域の皆さまの健康と幸せに貢献します」

●基本方針

- ① 身近なかかりつけ医療機関として、自院の役割・能力を客観的に把握し、患者さまに親身に、適切に対応します。
- ② 専門的な技術・知識について日々研鑽し、患者さまの身になった、安全で確実な医療を追求します。

医療法人社団光仁会 梶川病院

<http://www.kajikawa.or.jp/> 〒733-0022広島市西区天満町8番7号 TEL 082-231-1131(代表)

外科/内科/泌尿器科/整形外科/循環器科/肛門科/放射線科/リハビリテーション科

病院長挨拶

昨年9月に病院長に就任致しました末丸直子です。就任の打診を受けた際には、知識・経験不足であるため大変悩みましたが、スタッフの協力と家族の理解を得て決断致しました。微力ながら精一杯努めていく所存です。

さて、院長となり今まで考えずに過ごしていたことを考える機会が増え、視野の違いを感じています。一番今までと違うことは“良い院長とは？”“その前に一医師としてはどうか？”と自分を振り返って考えていることかもしれません。

主人の母校である、順天堂大学の校訓に「名医たらずとも良医たれ」と

良い院長とはどのようなものでしょうか。私の持っていたイメージはとてども稚拙ですが、病院内でも年輩で経験豊富でどんな荒波が来ても動じず「こうすればよろしい」と対処できる、優しく厳しくて頼もしい、ちょっと太ったおじさんでした。前出の良医と名医が一緒になったような人物です。ちょっと太るくらいなら私でも何とかかなりそうですが、その人物像は私と正反対です。きっと良い院長というのは良医の延長線上にあり、日々の良医の積み重ねだと考えます。これからは患者さんのみならず、職員、家族に対する責任があります。常に良医となることを意識して一日一日やっていくことを心がけたいと思います。

という言葉があります。一見、名医でなくても良医であればよいという、励まされるような言葉です。私の勝手なイメージですが、名医とは何でも診断し高い技術で治療し成功を収めていく医師で、良医とはもっと身近な、患者さんが相談しやすく、一人一人のニーズに合った対処(医療や介護)が細やかにできる医師のことではないかと思えます。限られた時間の中、日進月歩の医療業界の中で新しい知識を取り入れながらも、自分の経験をもとにいかにかその人に合った対処ができるか…。良医になるということのも楽ではなさそうです。

今後の展望としまして、当院は透析を含む一般内科を中心とした医療や慢性期医療を行う病院ですので、大病院に行くほどではないが医療が必要な方や、医療は十分でも在宅や社会に復帰できない方が退院できるよう、細やかに色々な角度から支援していける病院にしたいと考えております。

今後ともご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。



院長
末丸 直子(旧姓:梶川)
すえまる なおこ
《専門》内科

新任医師紹介①

4月より外科・消化器科の常勤医として着任致しました浅海です。と言いましても4年前までは梶川病院の常勤医として勤務しており、その後も非常勤として外来業務を行っておりましたので、復帰という方が適切かもしれません。この4年間は皆様に大変ご迷惑をおかけしまして誠に申し訳なく思っております。

私の専門は外科、消化器、肛門、乳腺等ですが、疾患にこだわらず他科の先生と協力しながら診断・

治療を行っていきたいと考えておりますので、病気の如何にかかわらずご相談下さい。当院では内視鏡治療も積極的に行っており、胃や大腸のポリープ切除や胆管結石の摘除、胃瘻造設なども可能です。外科医不足のため大きな手術は出来ませんが、小手術は徐々に始めていきたいと考えております。

今後皆様の信頼を得られるよう努力していく所存でありますので、何卒宜しくお願いいたします。



医師
浅海 良昭
あさみ よしあき
《専門》外科
医学博士
日本外科学会認定医
日本消化器外科学会認定医

新任医師紹介②

本年4月より梶川病院に着任致しました内科の白神です。昭和63年岡山大学卒業後、臨床研修期間や大学での研究期間を経て、平成9年春広島にやってきて以来、今年でもう17年目になります。広島市民病院に12年間、広島通信病院に4年間在職した後、この春より梶川病院に勤務しています。

専門は肝臓疾患です。市民病院時代は主に肝臓の内科的治療を、

通信病院転勤後は内科疾患一般を広く診ながら、主に肝炎や肝硬変などの良性肝疾患を多く診させて頂いておりました。

病院の性格上、内科全般の幅広い領域をカバーすることになると思いますが、その中でも自分の専門である肝疾患領域で出来るだけ周りの方々のお役に立つことが出来ればと思っています。よろしくご依頼申し上げます。



医師
白神 邦浩
しらが くにひろ

《専門》内科(肝臓)
日本肝臓学会肝臓専門医
日本消化器病学会消化器病専門医
日本内科学会認定内科医

部門紹介 ▶▶▶ リハビリテーション科

“患者様の本来あるべき姿で、帰るべきところへ帰っていただく”

“患者様の本来あるべき姿で、帰るべきところへ帰っていただく” 私たちリハビリテーション科が掲げる理念です。

私たちはこの理念を全うするため二つのことに取り組んでいます。一つは全ての患者様にリハビリテーションを提供することです。多くの高齢者が入院を転機に身体精神機能が低下し自宅での生活が困難になりますが、これを予防することを目的としています。入院の目的が如何なるものでも入院前より少しでも身体機能がレベルアップできるよう、また生きがいとなる目標を見出せるよう支援を行っています。

もう一つの取り組みは患者様の全てを把握するという事です。入院後2週間以内に患者様の自宅訪問を行います。これはその方が自宅で生活していく上でどのような動作が必要か、現状の身体機能では何が障壁になり得るか、それらに対しどのようなリハビリを行う必要があるか、ということを確認するためです。これは自宅に行かなければ分かりません。また、退院前には患者様本人に同行いただいた上で再度の自宅訪問を行い、問題が解決できているか確認を行います。問題なければ試験外泊を行い退院という流れになります。



リハビリテーション科スタッフは PT 8名 OT 1名 ST 3名 です

嚥下造影検査(VF)の取り組み

その他の取り組みとして、嚥下造影検査(VF)を行っています。この検査では、造影剤を混ぜた食物を実際に食べていただき、その飲み込みの過程や状態を、X線透視検査を利用して確認・評価することが出来ます。

検査後まずは、検査結果から食事の形態や姿勢、摂取方法などを調節することにより、安全な嚥下方法について検討します。その後、実際の映像を患者様やご家族の方と一緒に見

ながら、現在の状態や危険な食べ方等を説明させていただき、という流れになります。また今後は、デイケアや老人保健施設等と連携を図り、摂食嚥下を評価する目的の短期間の入院受け入れも検討しています。

これらの取り組みにより、リハビリテーション科では患者様・ご家族が思う理想の姿に少しでも近づけられるよう支援を行ってまいります。

リハビリテーション科長 岡野健太郎



言語聴覚士による検査の説明

かじかわクリニック診療予定表

診療時間		午前 9:00~13:00	午後 14:00~18:00(土曜日午後は休診)				
		月	火	水	木	金	土
内科	午前	浅海	★白神	浅海	末丸	末丸	鈴木
	午後	鈴木	串畑	★白神	浅海	★奥新	—
外科	午前	浅海	—	浅海	—	—	—
	午後	—	—	—	浅海	—	—
泌尿器科	午前	久米	—	久米 / 後藤	久米	久米	广大
	午後	久米	—	久米 / 後藤	—	久米	—
神経内科	午前	—	—	永野 (12時まで)	—	—	—
	午後	—	—	—	—	—	—

★印は予約優先となります。平成25年4月1日現在

病院周辺案内図



- ・梶川病院 広島電鉄 天満町電停より 120M(徒歩2分)
- ・かじかわクリニック " " 110M(徒歩2分)
- ・スイートピア " " 20M(徒歩1分)
- ・フェニックスクリニック " " 230M(徒歩3分)

梶川病院の特徴と関連施設・保有機器

当院は、透析を含む一般内科・外科・泌尿器科を中心とした医療を行い、在宅・社会復帰に向けた決め細やかな支援に力を入れています。入院受け入れ対象者は以下の通りですが、対象外の方もご相談下さい。

入院受け入れ対象者

- ・急性期を脱したが、以下についての継続的な医療を必要とする方
中心静脈栄養、気管切開、酸素療法、人工呼吸器、8回以上の吸引、胃瘻交換、消化管出血、1日3回の血糖チェック、褥創等の創処置、悪性腫瘍(麻薬等による疼痛コントロール) など
- ・積極的な治療が必要な方
肺炎、脱水症、尿路感染症 など
- ・リハビリテーションが必要な方
整形外科医は不在ですが、手術後の継続リハビリ・骨折の保存療法など、院内でのリハビリを実施することが出来ます。嚥下機能障害のある方につきましても、嚥下機能評価のための嚥下造影検査が出来、訓練も行っております。
- ・人工透析をされている方(導入予定の方)
入院中は院内の透析室で対応しております。退院後も同法人のフェニックスクリニックでの外来透析実施が可能です。
- ・レスパイト(介護休暇目的)入院
レスパイト入院はその時点の空床状況によりますので、お問い合わせ下さい。

入院・外来受診などのお問い合わせは

「地域医療連携室」までどうぞ

TEL:082-942-0606 FAX:082-942-0909

※地域医療連携室直通です

【関連施設一覧】

- 梶川病院(入院療養、手術、検査専門病院)
- かじかわクリニック(一般外来診療)
〒733-0031 広島市西区天満町13-1コムズ天満2階
TEL 082-231-1176 FAX 082-232-6969
- フェニックスクリニック(人工透析)
〒733-0031 広島市西区観音町7-29
TEL 082-293-8400 FAX 082-293-8401
- あしたば訪問看護ステーション
〒733-0022 広島市西区天満町13-19
TEL 082-234-0585 FAX 082-234-8996
- すみれ(梶川病院内デイケア)
TEL 082-231-1196 FAX 082-231-1186
- デイサービスセンタースイートピア
〒733-0022 広島市西区天満町18-8
TEL 082-293-7667 FAX 082-297-7322
- 居宅介護支援事業所リンデン
〒733-0022 広島市西区天満町13-19
TEL 082-297-7717 FAX 082-297-7311
- 老人保健施設べにまんさくの里
〒739-0478 廿日市市大野1320
TEL 0829-50-0031 FAX 0829-50-0037
- 老人保健施設こぶしの里、こぶしの里病院
〒729-5121 庄原市東城町川東152-4
TEL 08477-2-5252(老健) 08477-2-5255(病院)

【保有機器紹介】

- オープンタイプ型MRI
MRCP(非造影胆道系撮影)やVS-RAD(早期アルツハイマー病診断支援)も行っております
- 16列マルチスライスCT
2012年に導入、COPD(たばこ病)の診断、CT大腸検査、体脂肪分析など特殊ソフトも充実しております
- 高精度デジタルX線透視装置
フラットパネルが搭載された最新型で、胃X線検査をはじめ、大腸X線、胆道造影、血管造影、VF(嚥下造影)、膀胱尿道造影など様々な検査が高精度で行えます

放射線検査のご予約はこちらまで

TEL:082-231-1131(代表) FAX:082-293-1153(放射線科直通)